



愛産大生の明確な強み(優位性)

「十分」評価で比較すると、愛知産業大学の卒業生は、特にアウトプット型のスキルで新卒者全体を大きく上回る明確な強みを持っています。

- 知識・技術のレベルの高さ(+27pt) :「専門知識・スキル」の評価が新卒者全体の3倍以上(40%対13%)。これは、大学の教育が特定の分野で非常に高いレベルの知識や技術を習得させていることを示します。
- 対人・表現スキル(+27pt, +21pt) :「プレゼンテーション能力」(40%)や**「コミュニケーション能力」**(34%)の評価が非常に高く、組織や顧客に対して効果的に情報を伝え、関わる力に優れていると評価されています。
- 総合的な満足度(+9pt) :**「総合的に判断して、本学学生の採用に満足している」**の評価が21%と、新卒者全体の12%を大きく上回っており、採用企業からのロイヤリティや高い評価に繋がっています。

愛産大生の明確な課題(劣後性)

新卒者全体と比較して「十分」評価が大きく下回っているのは、自律的な思考や行動に関わる項目です。

- 自律的な思考力(-20pt) :**「問題解決能力」**の評価が13%と、新卒者全体(33%)より著しく低い。これは、課題を自ら発見し、解決策を導き出す能力に課題があることを示唆しています。
- 組織人としての心構え(-20pt) :「責任感」の評価も13%と低く、組織の一員として最後までやり遂げる強い責任意識が不足している可能性があります。

これらの結果は、愛知産業大学の学生が「知識や協調性は高いが、それを自律的に応用・遂行する力に課題がある」という傾向を示しています。